

Tsuyama College		Year	2019		Course Title	国際英語論 I
Course Information						
Course Code	0103			Course Category	Specialized / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	Academic Credit: 2	
Department	Department of Integrated Science and Technology Communication and Informations System Program			Student Grade	4th	
Term	First Semester			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	『技術英語：実践的技術英語テキスト：初級～中級レベル』（電気書院）					
Instructor	RAMBO Eric					
Course Objectives						
学習目的：初級技術英語の語彙，発音，文法，リスニングを学ぶ。本授業では学生がより速く正確に英文を理解できる力をつける。また，250語程度の英作文ができるようになることをめざす。 到達目標： 1. 英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 2. 標準的な発音を聴き，音を模倣し，つづりと音との関係を理解できる。リエゾンなど，語と語の連結による音変化を認識し，基本的な強勢を正しくできる。 3. 技術英語の基本的な文章を理解できる。 4. 適切な文法を使って，技術的な題材についての基本的な英作文ができる。 ◎日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。						
Rubric						
	優	良	可	不可		
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりがおおむねできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできない。		
評価項目2	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが十分できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが最低限できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。		
評価項目3	本文の要旨を英語でまとめることができる。	本文の要旨を英語でまとめることができる。	本文の要旨を英語でまとめることができる。	本文の要旨を英語でまとめることができない。		
評価項目4	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが十分できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができ	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが最低限できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができない。		
評価項目5	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが十分できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが最低限できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができず，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができない。		
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別：一般・英語・国際コミュニケーション推進プログラム 必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択 基礎となる学問分野：英語学・言語学・英米 / 英語圏文学 学科学習目標との関連：本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」，「⑤グローバルな視点と社会性の養成」，「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。 授業の概要：初級技術英語の語彙，発音，文法，リスニングを学習する。初級技術英語の英文を読む。さらに定期的に英語でエッセーを書く。					
Style	授業の方法：本科目は前期に開講する。4技能（リーディング、ライティング，リスニング，スピーキング）全てのスキルの向上を目指してアクティビティーを行う。 成績評価方法：2回の定期試験の結果を平均して評価する（50%）。定期試験の結果に加え，平素の課題，小テスト，発表など（50%）を総合して成績評価をおこなう。 試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。					
Notice	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが，これ以外に30単位時間の学習が必修となる。 履修上のアドバイス：予習・復習・課題を指示するので必ず取り組むこと。ノートを準備して授業のノートを取り，頻繁に授業の復習をすること。本授業では辞書は必須である。（可能であれば，電子辞書が好ましい。） 基礎科目：英語I（1年），英語表現I（1），英語II（2），英語表現II（2），英語III（3），英語IV（4） 関連科目：国際英語論II（4），英語V（5） 受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。教科書・英和辞書を持参し，予習や課題を取り組んだうえで授業に臨むこと。小テストは適宜おこなうので，必ず参加すること。 遅刻について：授業開始20分すぎでの入室は欠課扱いとする。					

Course Plan							
			Theme	Goals			
1st Semester r	1st Quarter	1st	●ガイダンス（予習・復習など学習法の説明，受講上の注意） Lesson 1				
		2nd	Lesson 1 – 2				
		3rd	Lesson 2				
		4th	Lesson 3 エッセイ提出				
		5th	Lesson 3				
		6th	Lesson 4				
		7th	まとめと定期試験対策				
		8th	●前期中間試験				
	2nd Quarter	9th	●前期中間試験返却と解説， Lesson 5				
		10th	Lesson 5				
		11th	Lesson 6 エッセイ提出				
		12th	Lesson 7				
		13th	Lesson 8				
		14th	まとめと定期試験対策				
		15th	●前期末試験				
		16th	前期末試験の返却と解説				
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	小テスト	課題	Total
Subtotal	50	0	0	0	25	25	100
基礎的能力	50	0	0	0	25	10	85
専門的能力	0	0	0	0	0	10	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	5	5